

授業科目名	子どもの保健	教員名	花畑 明美	免許・資格との関係	小学校教諭	
					幼稚園教諭	
					保育士	必修
					こども音楽療育士	
授業形態	講義	配当年次	3 年前期	卒業要件	中高英語コース	
科目番号	TAI303				小幼コース	
単位数	2 単位				幼保コース	
科目	教職に関する科目（教職の意義等に関する科目）（幼稚園及び小学校）					
施行規則に定める科目区分	保育の対象の理解に関する科目					
科目						
系列						
一般目標	人の一生を決める子どもの年齢時期別の成長発達を理解し、小児の発育と健康を確保する。 （テーマ）小児の健康上の課題と対応策					
到達目標	人の一生を決める子ども期にはステージごとに特徴がある。各ステージにおける健康的な成長発達と、子どもの発育過程で起こりやすい疾病とその予防、適切な対応について理解する					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、学科のディプロマポリシーに掲げる「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授業の概要	1. 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。 2. 子どもの身体発育や生理機能及び運動機能並びに精神機能の発達と保健について理解する。 3. 子どもが多く罹患する疾病を理解し、その予防と症状への対処法を理解する。 4. 子どもの健康の保持・増進のため他職種間の連携・協働の下での実施体制を習得する。					
履修条件・注意事項	特になし					
授業計画	第 1 回：子どもの健康と保健の意義 ・子どもの健康な発育・発達と情緒の安定に関わる保健活動の意義を解説する。 ・専門職としての保育について解説する。 (準備学習) ・自分自身が保育士の資格を目指している理由と方向性を記し講義に臨む。 第 2 回：健康の概念と子どもの健康指標 ・子ども期の区分、時期の健康について学び、公衆衛生学的な側面から健康の指標と、保育所指針における健康の考え方を理解し、5領域の「健康」理解する。 (準備学習) ・WHOの定める健康の定義について調べる。 ・保育所保育指針・幼稚園教育要領を参照し5領域の健康領域を調べ講義に臨む。 第 3 回：子どもの保健と実践と課題 ・母子保健施策を解説する。 ・疾病、障害予防と社会的育児支援について解説し、社会的育児支援について、個々で考えた後グループワークする。 (準備学習) ・保健所、児童相談所、健康福祉センター等の育児支援について調べる。 第 4 回：地域における保健活動と児童虐待防止 ・地域における保健活動と児童虐待防止について例示し理解を深める。 (準備学習) ・児童虐待防止の法律について調べる。 第 5 回：子どもの発育と発達 ・生物としての人の成り立ちについて解説する。					

	・出生までの卵細胞と精細胞の融合、分裂、器官分化・形態・機能を解説する。 ・DVD視聴で理解を深める。 (私たちのからだと健康 生命の誕生からバースコントロールまで) 第 6回：身体成長過程と保健における ・身体・精神的な健康の特徴と保育方法を解説する。 ・保育所指針における健康の考え方を解説し、5領域の「健康」理解する。 (準備学習) ・5領域の「健康」の項目を基に子どもの健康支援について学習する。 第 7回：子どもの身体発育・発達の経過を解説し、子どもの発育区分を理解する。 ・スキヤモンの発育曲線の内容を調べる。 ・発育原則を解説する。 (準備学習) ・人の発生と器官の形成時期を調べる。 第 8回：新生児から思春期までの身体発育経過を解説する。 ・新生児から幼児期の発育支援と保育活動との関わりを解説する。 (準備学習) ・母子手帳を基に自身の成長過程を調べてノートに記録する。 ・パーセントイル曲線に自身の成長を記す。 第 9回：生理機能の発達と保健について、各器官別の機能発達を解説する。 ・呼吸機能、循環機能、免疫機能、消化機能の理解を深める。 ・人体模型図を活用して解剖生理を理解する。 (準備学習) ・医学用語の理解に努める。 第10回：生理機能の発達と保健について、各器官別の機能発達を解説する。 ・排泄機能、水分代謝、体温調節の理解を深める。 ・人体模型図を活用して解剖生理を理解する。 (準備学習) ・医学用語の理解に努める。 第11回：生理機能の発達と保健について、各器官別の機能発達を解説する。 ・内分泌機能、睡眠・覚醒リズム、感覚機能の理解を深める。 ・人体模型図を活用して解剖生理を理解する。 (準備学習) ・医学用語の理解に努める。 第12回：生理機能の発達と保健について、各器官別の機能発達を解説する。 ・神経機能、精神機能、情緒・行動発達の理解を深める。 ・人体模型図を活用して解剖生理を理解する。 (準備学習) ・医学用語の理解に努める。 ・、図3-20、表3-8を参照し、反射運動及び乳幼児期の運動発達を理解する。 第13回：小児の主な病気とその特徴、保育現場でよく見られる疾患を解説する。 ・感染症、先天異常、アレルギー疾患、免疫疾患、消化器疾患、呼吸器疾患について、写真・スライド等を活用し理解に繋げる。 (準備学習) ・病気の特徴の理解に努める。 ・自身の母子手帳を基に、罹患した疾患と接種した予防接種を調べる。 第14回：小児の主な病気とその特徴、保育現場でよく見られる疾患を解説する。 ・循環器疾患、血液疾患、悪性腫瘍、神経疾患、腎及び泌尿生殖器疾患について、写真・スライド等を活用し理解に繋げる。
--	---

	(準備学習) ・医学用語の理解に努める。 第15回：小児の主な病気とその特徴、保育現場でよく見られる疾患を解説する。 ・皮膚疾患、眼・耳疾患、整形外科疾患、内分泌・代謝疾患、人畜共通感染症、乳幼児突然死症候群（SIDS）について、写真・スライド等を活用し理解に繋げる。 (準備学習) ・医学用語の理解に努める。 第16回：定期試験
学生に対する評価	定期試験（60％）、提出物（40％）で総合評価する。 なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。 ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。 ・答案例を配布する。
時間外の学習について	(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。) 講義内容について、シラバスの到達目標に記載されているように自分の言葉で他者に説明できるように努めること。
教材にかかわる情報	テキスト：佐藤益子／中根淳子 編著 子どもの保健Ⅰ ななみ書房 参考書：適宜紹介・配付 参考資料等：適宜配布
担当者からのメッセージ	授業中に示される参考文献等で事前学習を行い、基礎となる知識・情報を調べておくこと。
オフィスアワー	授業の前後の時間（メール等でアポイントを取ること。)
備考	